

# 2022 年度事業報告

## 事業の概況

認定された公益目的事業を継続し着実に実施した。また、協会運営についても円滑に実施することが出来た。

当年度に行った事業の概況は次の通りである。

### I 公益目的事業部門

#### 1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業

(公益目的事業 1)

(A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業  
全国直営校 56 教室、指定校（自宅で料理教室開催）50 教室、親子料理教室 56 教室の合計延 252,040 名の受講者に対し、糖類の正しい知識を身につけた専任講師が、食文化講座及び親子向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。

イ. 東日本直営校 28 教室 134,016 名（当初計画 133,936 名）

ロ. 西日本直営校 28 教室 108,126 名（当初計画 108,028 名）

ハ. 指定校 50 教室 9,000 名（当初計画 9,000 名）

ニ. 親子料理教室 56 教室 898 名（当初計画 1,036 名）

(B) 糖類セミナー事業

セミナー開催にあたっては各都市の地元ラジオ局と連携を取りながら、広く募集告知を行い開催した。セミナーでは講師（農学博士・医学博士）と参加者の間で質疑応答や意見交換を行い糖類に関する正しい知識の理解を促進した。

また、人生 100 年時代を知性や教養を更に磨き、毎日の生活をより健康で充実したものにするために「食・健康・医学・知識・教養等」の幅広いテーマでセミナーを開催した。

<糖類セミナー>

※講演テーマ「砂糖と健康セミナー」

イ.2022 年 9 月 27 日 仙台市 後援 TBC 東北放送

応募者 160 名 参加者 91 名 アンケート回答者 79 名

ロ.2022 年 10 月 25 日 高松市 後援 西日本放送

応募者 110 名 参加者 76 名 アンケート回答者 63 名

ハ.2022 年 11 月 15 日 横浜市 後援 ニッポン放送

応募者 1069 名 参加者 234 名 アンケート回答者 216 名

<食育・知識・教養セミナー>

イ、2022年5月12日 東京都 講師・田中ウルヴェ京氏

講演テーマ「心を整える！ストレスとの上手なつきあい方」

応募者 608名参加者 150名

ロ、2022年7月14日 東京都 講師・黒川勇人氏

講演テーマ「グルメから防災まで！世界に誇るニッポンの缶詰の魅力」

応募者 614名参加者 129名

ハ、2023年1月25日 東京都 講師・おおたわ史絵氏

応募者 600名参加者 125名

講演テーマ「現代人の心と身体のカルテ」

(C) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とし、全日本小学生ドッジボール選手権、夏・春の大会に協賛した。

主催：一般財団法人日本ドッジボール協会

後援：スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ協会

<夏の大会>

都道府県数 44 県 （予選参加チーム数 525、参加人数 16,220 名）

<春の大会>

都道府県数 45 県 （予選参加チーム 523、参加人数 15,080 名）

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業

（公益目的事業 2）

(1) 大分大学 医学部 講師 後藤 孔郎 氏

「ACE2 発現に注目したフルクトオリゴ糖による新型コロナウイルス感染の重症化予防の検討」

(2) 国際医療福祉大学 講師 岩佐 宏晃 氏

「終末糖化産物が及ぼす健康寿命に関する研究」

(3) 多摩美術大学 非常勤講師 大谷 友花 氏

「砂糖とコンテンプラリーアート」

(4) 神戸大学 博士課程後期 野口 英佑 氏

「台湾における日本統治時代の糖業移民の歴史から紐解く現代台湾における日本の位置付け」

(5) 微生物化学研究所 主席研究員 安達 勇光 氏

「過剰炎症を制御するイミノ糖の創出」

(6) 金沢医科大学 准教授 谷田 守 氏

「上部消化管の自律神経求心路を起点としたグルコースによる新たな自律神経反射経路の発掘」

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業 3)

公益委員が中心となり収集を行い、知識を高め助成事業等の審査に活かした。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより、広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業 4)

(1) 所蔵美術品展の開催

会 期 2022年9月5日～9月9日

展覧会名 糖業協会コレクション～近代洋画～独立美術協会に所属した画家展

展示場所 協会1階玄関ロビー、2階ホワイエ・小ホール

展示点数 47点

(2) 特定美術品の貸出

貸出先 福島県 いわき市立美術館

会 期 2022年4月23日～6月12日

展覧会名 糖業協会・大川美術館によるコラボレーション展 松本俊介「街」と昭和モダンの美術

貸出点数 61点

入場者数 2,693名

II 収益事業部門

会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

(収益事業 1)

(1) 有効スペースの活用策を検討した。

現状、会館は貸室（オフィス）仕様となっていないので貸室にするには「OAフロア、照明設備、電力量計、個別空調設備」等の新設が必要であり多額な投資が見込まれること。また、旧会館から引き継いだ調度品、壁面、ステンドグラス等を保全する必要があること。この様なことから、現状有姿で借りていただける賃借人を探すこととした。

- (2) ビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高めることに努めた。

### III 管理部門

#### 1. 会報の発行

協会の公益目的事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、会員をはじめ協会の関連団体に向けて年4回（定期8月・2月、特別号7月・12月）発行した。

#### 2. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営・管理を行うと共に、引き続き経費の削減に努めた。

## 協会運営に関する事項

### 1. 社員総会

2022年6月22日午前11時より、当協会会議場に於いて、第11回社員総会を開催（出席正会員243名/正会員総数319名）次の議案を付議した。

第1号議案 2021年度事業報告並びに2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件  
原案の通り承認可決した。

報告事項 ①2022年度事業計画書並びに収支予算書（正味財産増減予算書）について説明・報告をした。

②糖業会館協会スペースの有効活用について説明・報告をした。

### 2. 理事会

当年度中11回開催し、総会提出議案のほか、「公益社団法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

### 3. 専門委員会

#### (1) 会員委員会（委員長 矢田理事ほか6名）

当年度中5回開催（書面審議）し、会員の入会申込者の選考について審議し理事会に答申した。

#### (2) 公益委員会（委員長 岩崎理事ほか9名（内2名社外特別委員））

当年度中2回開催し、公益事業関係予算、公益事業計画等を審議し理事会に答申した。

(3) 行事委員会（委員長 永井理事ほか6名）

当年度中1回開催し、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

(4) 美術品委員会（委員長 小谷理事ほか7名（内2名社外特別委員））

当年度中2回（内1回は書面）開催し、美術品関係予算、特定美術品の展示、公開、国公立美術館への貸出等につき審議し理事会に答申した。

4. 特別委員会

ビル事業特別委員会（委員長：塚西理事,委員：飯田理事、永井理事、  
上床事務局長）

当年度中に1回（前年度から通算8回）開催し、新規ビル事業について審議し理事会に答申した。

5. 登記及び監督官庁への届出事項等

(1) 2022年6月23日、2021年度の事業報告等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

(2) 2023年3月30日、2023年度の事業計画書等に係る提出書類を内閣総理大臣宛提出した。

6. 会員入退会者数（2022年4月1日～2023年3月31日）

入会	法人正会員	0社
	個人正会員	8名
	個人賛助会員	3名
退会	法人会員	1社
	個人正会員	51名（内死亡12名）
	個人賛助会員	6名（内死亡0名）

7. 会員数（2023年3月31日現在）

法人正会員	16社（前年3月末17社）
個人正会員	272名（前年3月末315名）
個人賛助会員	35名（前年3月末38名）
会員総数	323名（前年3月末370名）

以上